

インタラクティブ大学院教育 国内短期留学報告書

理学研究科 高分子科学専攻 井上研究室 M 1 里川 雄一

派遣先：The 2nd International Workshop for Far East Asian Young Rheologists

期間：2007年1月26日～28日 於京都工芸繊維大学

1月26日から28日まで、京都工芸繊維大学において行われた The 2nd International Workshop for Far East Asian Young Rheologists に参加しました。本ワークショップの目的は、大きく二つあります。一つは英語を母国語としない学生が、英語でのプレゼンテーションの機会を持つこと、もう一つは日中韓という地理的に近い国の若手レオロジスト間の交流を深めることです。

私は初めて英語でのポスター発表を経験しました。頭の中にあることをうまく言葉にすることが出来ず、しどろもどろになりながらの説明でした。しかし学生の方が、私の意図するところを汲み取ろうと熱心に話を聴いてくださったおかげで、ようやく一通りの説明をすることが出来ました。質疑応答においても、お互いの意思疎通をするのに苦労しました。

期間中には、学生間の交流を深める機会が多くありました。二日目には京都市内の名所を巡る遠足が催されました。私も銀閣寺と清水寺へ行きました。ここでも同様に、頭の中にあることをいかに英語でうまく説明するかに苦労しました。

三日間を通じて感じさせられたのは、英語力を付けることの重要性でした。とはいえ、同年代の学生どうし、母国語を使わず、お互いに何とかコミュニケーションをとろうとするのも、それはそれで楽しいものでした。次回は上海での開催とのことで、ぜひ参加させていただきたいと思います。

最後となりましたが、このような貴重な経験をすることが出来たのは、インタラクティブプログラムのお力添えあってのことです。心より御礼申し上げます。



遠足で行った清水寺